

川村ひろあき活動レポート

2020.01.01 Vol.173

川村ひろあき事務所：千葉市花見川区花島町480-6

広げよう国際交流・友好親善の輪！！

台湾・新北市で桜の植樹を実施しました。

◎第15回千葉市「花の旅団」の活動

2019年11月14日から17日まで3泊4日で台湾・新北市、台北市、宜蘭市を訪問し、桜の植樹をはじめとした国際交流活動を行なって参りました。

この植樹ツアーは、2005年から始めた千葉市「花の旅団」の第15回目で、過去8回は千葉市の友好都市である中国呉江市で行い、台湾・新北市での植樹は昨年につき7回目でした。[今回の参加者数：13名]

行程は14日に日本を出発し、台湾・台北市に到着。15日は新北市三峡区を訪問し、区役所にて歓迎会、そして区役所玄関脇の庭で、新北市の方々と共に記念植樹を実施し、三峡祖師廟がある三峡老街を見学し、新北市主催の昼食会。その後同市平溪区へ移動し、十分に恒例の天燈（ランタン）上げを実施。その後宜蘭市に移動し、ThroughTek社の郭啓銘社長主催の晚餐会に出席し、林姿妙宜蘭県長と面談。16日は国立伝統芸術センターを視察の後、奇麗灣珍奶文化館（奇麗灣タピオカミルクティー文化館）や金車噶瑪蘭威士忌酒廠（KAVALAN Whisky工場）を見学した後、台北市に戻り、夕食後、地下鉄を利用して士林に移動し士林夜市を散策。17日は台北市内で、忠烈祠などを見学の後、空港に移動し、夜、成田に帰国しました。

今回訪問した三峡区には、陳文俊区長が「三峡老街は千葉県佐原の小野川沿いによく似た佇まいの街だ」と紹介されたこともあり、親近感を持ちました。

これからも、千葉市「花の旅団」の活動を通じて、市民レベルの草の根の国際交流を続けていくことで、少しでも国際友好親善の一助になればよいと思います。

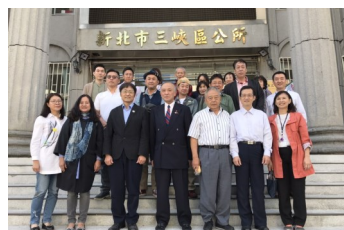
これからもご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



新北市三峡区役所玄関脇の庭にて記念植樹の様子



三峡区役所会議室にて



三峡区役所玄関にて



林姿妙宜蘭県長と共に



郭啓銘社長主催の晚餐会

◎新北市三峡区について

新北市三峡区は、人口11万3千人。面積191km²の新北市南西部の桃園市と接する山間部に位置する区で、2010年に新北市に改編されるまでは台北県三峡鎮でした。

三峡とは淡水に通じる「大漢溪」「三峡溪」「横溪」の3本の河川が合流し三角州を形成することから呼ばれ、客家人が河川を利用し、樟脳、染色布、お茶などの特産物を輸送する交易地として発展しました。

区のある中心にある三峡老街は現在も日本統治時代に建てられたレンガ造りの建物で構成されており。またこの名物は紅茶とクロワッサン（金牛角）だそうです。



三峡祖師廟にて

◎編集後記

今回の訪問では、新北市三峡区のホームページに活動が掲載された他、台湾の地元



テレビや新聞などメディアの取材を受けました。

帰国後、友人に会った時、「台湾に駐在している子供から台湾での川村さん達の活動をテレビで見たと報告があった」と言われ、うれしく思いました。

また今回の訪問では、行く先々で、昨秋の台風15号・19号の台風被害へのお見舞いの言葉をいただきました。

台湾の方々の心遣いに、改めて感謝の気持ちを持った次第です。

上段は台湾・工商時報 [2019年11月15日] 千葉日報朝刊 2019年11月20日

台湾で友好の桜植樹
市民団体「花の旅団」
国際交流に心をこめて
千葉市の市民グループ「花の旅団（川村博章団長）」が、台湾の新北市などを訪れ、

友好の証として桜を植樹した写真。
同グループは花を通じて国際交流を図ると、毎年11月ごろに台湾に渡航している。今年メンバー13人が11月14～17日の日程で新北市の三峡区役所などを訪れ、現地関係者とともに同区役所玄関脇の庭に桜の木1本を植えた。

川村団長は「（現地関係者）台風被害を気にしてくれた。身近な友人としてこれからも大切にしていきたい」と永永い親睦を願った。同グループの海外訪問は15回目で、同市での植樹は7回を数える。



台湾で友好の桜植樹
市民団体「花の旅団」
国際交流に心をこめて
千葉市の市民グループ「花の旅団（川村博章団長）」が、台湾の新北市などを訪れ、

◎川村ひろあき事務所

※市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

〒262-0042

千葉市花見川区花島町480-6

TEL: 043-250-1021

FAX: 043-250-0071